

安倍首相が狙う9条改憲 共産・立憲・社民が反対 … 選挙後初のテレビ討論

総選挙後初の与野党幹部による討論が23日のNHK番組でおこなわれ、安倍首相が狙う自衛隊明記の憲法9条改憲が焦点となりました。自民・公明与党と希望の党、日本維新の会は9条を含む改憲を推進・容認。選挙で共闘した日本共産党、立憲民主党、社民党の3野党は安倍9条改憲にそろって反対するなど、憲法をめぐる二極対決が鮮明になりました。

討論で日本共産党の小池書記局長は「書き込もうとしている自衛隊は災害救助でがんばっている自衛隊ではない。安保法制(戦争法)で集団的自衛権を行使するその自衛隊を書き込むことになれば、文字通り制約なく海外で武力行使ができるようになる」と安倍改憲案の危険な狙いを告発しました。

自公とその補完勢力が「教育無償化」など改憲勢力の口実を列挙することに対し、小池氏は「教育無償化などは憲法を変えなくてもできる。国民のなかで憲法を変えよという声があがっている状況でもない。いま政治がやるべきことは憲法を実現することだ」と批判。臨時国会を開いて「森友・加計疑惑」などを徹底審議するよう求めました。(10月25日付「しんぶん赤旗」)

強力な対抗勢力の再構築を 総選挙結果 市民連合が見解

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合(市民連合)は23日、総選挙の結果を受けて見解を発表しました。「今回の市民と野党の共闘の成果を踏まえ、立憲民主党が、無所属、その他の心ある政治化とともに、強力な対抗勢力を再構築することを心より期待し、市民連合もできるかぎりの応援をしたい」と表明しています。

見解は、「与党の巨大な議席は、勝者にボーナスを与える小選挙区制度がもたらした、民意からの乖離といわなければなりません」と指摘。「前原代表が希望の党への合流を強引に推し進め、民進党を分裂させ、野党協力の態勢を壊したことは、強く批判されるべきだと考えます」とのべています。

立憲民主党が野党第1党になったことにふれ、「立憲民主主義を守る一応の拠点ができたことは一定の成果といえるでしょう」とし、「この結果については、自党の利益を超えて大局

的視野から野党協力を進めた日本共産党の努力を高く評価したいと考えます。社会民主党も野党協力の要としての役割を果たしました」とのべています。野党共闘の構築に取り組んだ市民に対して心からのエールを送っています。

安倍政権が狙う改憲発議に対して「反対」を表明し、立憲野党とともに大きな運動をつくっていく決意を明らかにしています。(10月25日付「しんぶん赤旗」)

総選挙結果 常陸大宮選挙区

比例代表	日本共産党	1,414票(1区と4区の計)
小選挙区	堀江かくじ	2,184票(4区)
〃	大内くみ子	1,355票(1区)

野党一本化なら逆転63区 試算

10/24(火) 8:40 掲載

野党一本化なら63選挙区で勝敗逆転 得票合算の試算

今回の衆院選は、政権批判票の受け皿となる野党が分散したのが大きな特徴だ。複数の野党候補(野党系無所属を含む)が競合した「野党分裂型」226選挙区のうち、約8割の183選挙区で与党候補が勝利をおさめた。一方、朝日新聞が各野党候補の得票を単純合算して試算したところ、このうち3割超の63選挙区で勝敗が逆転する結果となり、野党の分散が与党側に有利に働いたことがうかがえる。(朝日新聞デジタル)



広域避難に関する住民説明会の日程

10月16日に市議会全員協議会が開かれ「広域避難に関する住民説明会」についての説明がありました。説明会の目的は「原子力災害時における常陸大宮市民の県外広域避難に関する住民説明会を実施し、常陸大宮市原子力災害広域避難計画の作成状況について説明して、広域避難に関し住民の方への理解を図る」としています。

- 11月7日(火)文化センター(小ホール)18:30~19:30
- 9日(木)緒川総合センター(会議室)18:30~19:30
- 14日(火)御前山市民センター(大集会室)18:30~19:30
- 16日(木)山方農林漁家高齢者センター(大和室)18:30~19:30
- 21日(火)表郷みらい館18:30~19:30
- 23日(木)文化センター(小ホール)10:30~11:30